市川市少年サッカー親善大会(4年生の部,5年生の部)実施要項

[大会趣旨]

大会を通して、選手相互の親睦を深め、健全育成を図る。 試合を通して、ゲームを楽しみ、サッカーを愛する子を育てる。 指導力および審判の技術の向上を図る。

1. 大会名

第53回市川市少年サッカー親善大会 シャポー市川カップ2022(4年生の部・5年生の部)

- 2. 主 催 市川市サッカー協会
- 3. 主 管 市川市サッカー協会第四種委員会
- 4. 後 援 市川市教育委員会
- 5.協 賛 シャポー市川 SPORTS DEPO モルテン
- 6. 大会日程 5年生の部 リーグ戦 令和4年9月24日 10月1日 10月29日 (3日間のうちの2日を使う)(決勝トーナメントは行わない) 4年生の部 リーグ戦 令和4年12月3日 12月10日 12月17日 (3日間のうちの2日を使う)(決勝トーナメントは行わない)
- 7. 会 場 5年生の部 柏井小・大野小・国分川調節池緑地広場(国分 SC)・稲越小 塩焼小・富美浜小・信篤小 4年生の部 国分川調節池緑地広場(国府台 FC)・若宮小・冨貴島小・鬼高小 中国分小・南新浜小・福栄小

8. 参加資格

- ・参加チームは市川市サッカー協会第四種委員会に加盟登録すること。
- ・ 参加選手は市川市サッカー協会第四種委員会に個人登録すること。
- ・大会参加者は全員、スポーツ安全協会傷害保険等に加入のこと。
- ・大会参加者は全員、保護者の承諾を得ていること。

加チームは、所定の大会参加申し込み手続きを終えたチームであること。

- ・事前メンバー登録表締め切り 5年の部 9月21日(水) 4年の部 11月30日(水)
- ・ 当該学年の選手が少ない場合は、下学年から補充することができる。(14名ルールの適応)下学年から補充した場合は登録メンバ の合計を14名とする。この場合、大会趣旨を踏まえ、当該学年の選手の試合にでる機会を妨げることがないようにすること。また、補充した選手を会場責任者に申告すること。なお、上学年に出場しても本来所属する学年の大会に出場できるものとする。

9. 競技規則

- ・競技規則は「サッカー競技規則」による。
- ・8人制サッカー
- ・試合時間は10分 (3分) 10分 (3分) 10分 の3ピリオド制 サイドの決定:第1ピリオドと第2ピリオドは、前後半制と同様コイントスで決定し、第2ピリオ ドはサイドを変更する。第3ピリオドは、第1ピリオドと同じサイドとする。
- ・当該学年を必ず先発させること。
- ・登録した選手は、最低1ピリオドは必ず出場すること。
- ・選手の交代は自由。
- ・退場処分を受けた選手は、次の試合は出場ができないものとする。
- ・試合球は4号使用
- PKのポイントは7mとする。
- ・競技場のセンターサークルは、少年用半径7mとし、ゴールエリアは、ポストから少年用4m、中へ少年用4mとする。 ペナルティーエリアはポストから少年用12m とする。

10. 試合方法

- ・ 5年生の部 リーグ戦のみ
- ・ 4年生の部 リーグ戦のみ

(1)リーグ戦

- ・参加チームを7ブロックに分け、リーグ戦を行う。
- ・リーグ戦は次のような勝ち点を与え順位を決定する。 勝ち-3点 引き分け-1点 負け-0点
- ・勝ち点が同じ場合は次の順で順位を決定する。 得失点差 総得点 対戦成績 PK戦
- ・ 3チームがPK戦を行う場合は巴戦とする。

(2)その他

- ・ 予選リーグの 2 日間の日程が予備日を含め実施できなかった場合、リーグ内のチームの了承のもと 会場、日程を決定し、試合をすることができる。
- ・ 感染症等による出場自粛等により試合が行われないときは, 3 0としてリーグ結果を処理する。

11. 運営方法

(1)審判について

- ・ 各チーム1名の審判員(有資格者)を派遣し、第1試合30分前に会場に集合し、打ち合わせを行う。
- ・リーグ戦会場では別紙の計画にそって審判を行う。なお、審判服・ワッペンは必ず着用する。

(2)その他

・リーグ戦1位のチームは、次年度4月に行われる北ライオンズ杯争奪少年サッカー親善大会において、進級した学年の部のシードチームとなる。(シード内容:1日目に対戦しないように調整する。)

- ・ 各チームユニホームは2着用意する。(ビブス可とする)
- ・ 各チーム指導者のベンチ入りは3名とする。
- ・ 試合当日メンバー表を所定の書式にそって 提出すること。位置,背番号等記入をすること。
- ・怪我については、応急処置は行うが、その後は保護者の責任において処置する。
- ・ 会場は選手のベンチと保護者の応援場所を区別する。アップの場所やトイレ等の確認をする。
- ・ 会場には絶対迷惑をかけないように、ごみ等の始末をきちんとする。 喫煙は会場で指定された場所で行う。
- ・駐車をする際には会場の指示に従い、フロントガラス付近にチーム名、氏名を明示すること。
- ・開会式・閉会式は行わない。各会場にて、表彰は行うこととする。
- ・ 4年生の部、5年生の部は9月10日(土)代表者会議にて賞品を受け取り,各会場にて、順位を 確認し、敢闘賞を授与する。
- ・ 会場責任者は、試合結果を事務所及び記録(HP)担当(行徳 SC 田所)に報告する。(写メール可) FAX 不可

市川市サッカ - 協会第四種委員会事務所

メール: ichikawa_soccer@yahoo.co.jp

記録(HP)担当 (行徳 SC 田所) LINE:ID(7973t)

・雷の対応について

落雷の予兆があった場合、選手の安全確保を最優先事項とし、速やかに試合を中断し、 危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難する。

試合開始後、雷(暴雨風や突発的な自然災害等)のために、試合を中断した場合、およそ30分間様子を見た上で再開できないと判断した場合、以下のように処理する。

- ・前半が終了している場合、その時点のスコアにより試合成立とする。
- ・前半の途中で中断し、再開できない場合は、中断時点からの再試合(スコア・出場選手・ 試合残り時間等、中断時点のものとする)を行うこととする。ただし、やむを得ない事 情で該当選手の出場が困難な場合は、交代手続きにより再開することとする。

試合の中断は審判員の判断で行うが、会場責任者を中心に試合関係者の連携を密にし、 中止等の決定を行うこととする。

12. 感染症対策

- (1)各会場は、「使用者名簿(観戦する保護者も含める)」だけ作成し各クラブで保管。(後に感染等が 判明した場合に必要になります。)
- (2)試合開始から終了までの流れ及び配慮事項は以下のとおりとする。

当日の自宅での検温に加えて、会場到着後、試合開始までに、再度非接触型体温計等で検温し、体調の最終確認をする。

試合中の指導者及び控え選手用のベンチ は、原則として各チームが持参したものを使用する。 試合前後の整列、握手を行わない。試合前時に両キャプテン、主審のみ集まり陣地を決定する。

選手はキックオフ前にベンチより各ポジションに配置し準備する。

試合終了時、選手はその場からベンチへ引き上げ、即ベンチから撤収する。

ベンチ内の監督、控え選手はソーシャルディスタンス(2m)を必ず守り、密着しない。

監督やコーチの大きな声での指導や指示、選手の大きな声での応援は禁止とする。

原則として、飲水用の容器は選手個人専用、審判員専用の水筒を一人1本準備する。

熱中症対策のため、やむを得ず、飲水用のペットボトル、氷単体、クーラーボックスを持ち込む場合は、使いまわしを避ける等の感染防止策を徹底すること。

熱中症対策のため、選手、審判ともに、試合中の帽子の着用を可とする。

熱中症対策のため、各会場担当クラブは、試合中のベンチに、日除け用のテントを用意すること。

(3)その他

マスクの着用について

- ·会場内では、選手、指導者、保護者等の全員が、適宜マスクを着用(場や体調等に応じて着脱) し、会話は控えめにすること。
- ・試合中の出場選手と審判は、熱中症のリスクが高いため、マスクの着用を極力控えること。
- ・ベンチ内の選手、指導者は、適宜マスクを着用(場や体調等に応じて着脱)すること。

会場内での飲食は可とするが、必要最低限に止め、食する場合は黙食等の感染防止対策を徹底すること。

各チームの荷物置き場は、会場内でチーム同士が近づかないようにすること。(チーム内の距離含む)

保護者の観戦は可とするが、ソーシャルディスタンス(2m)を必ず守り、マスクを適宜着用(場や体調等に応じて着脱)し、会話を控え、密を避けること。

試合後にコロナウイルスの感染症状が確認された場合は、クラブ代表者を通じて大会事務局までお知らせ下さい。

13.表 彰

- ・ 5年生の部 リーグ1位が敢闘賞 トロフィー、賞状
- 4年生の部 リーグ1位が敢闘賞 トロフィー、賞状

14. 試合決定

- ・全日 6:00決定
- ・ 市川市サッカー協会第 4 種委員会 HP に掲載する。

15.大会事務局

八木 孝政 携帯 090-1055-1885 石原 一幸 携帯 090-2623-6585

・ 開会式を行わないため、大会の要項等は配布しない。4種 HP にて確認すること。